

次の文章は、山下さんが焼き物作りについて調べ、報告文として書いたものです。報告文を読んで、あとの問いに答えなさい。

「題名」

山下 幸子

佐賀県にはたくさん焼き物の産地があります。それぞれが、昔からの伝統を受けつぎながら、今もその歴史を重ねています。わたしは、その中でも全国的に有名な有田焼について、どのような歴史があり、どのように発展してきたのか興味があり、調べることにしました。

そこで、焼き物資料館や図書館の本、インターネットのホームページなどで調べた結果、次のことが分かりました。

有田焼が生まれたのは今から四百年ほど前で、焼き物の原料になる陶石が有田の町で発見されたことがきっかけです。この石を使って、日本で初めての磁器という焼き物が焼かれたそうです。

最初は、白地に青いもよう磁器が作られていたのですが、酒井田柿右衛門という人が赤の色を作り出し、「赤絵」とよばれる美しい絵柄を描いた焼き物を作ったことから、有田の焼き物が有名になったといわれています。その後、さまざまな柄や色加わり、金で飾り付けをしたごうかな焼き物も登場します。これらの焼き物は「伊万里」とよばれ、ヨーロッパ各地でも大きな影響を与えらるようになりました。

現在の有田焼は昔からの伝統を受けつぎながらも、さまざまな工夫を加えて発展しています。最近では、ラーメン・カレー・お酒など特定の食べ物や飲み物に合わせて工夫をこらした食器が作られ、好評だということでした。有田焼は、伝統の技法に新しい技術や工夫を加えながら進化を続けているということを強く感じました。

一 山下さんは報告文を分かりやすくするためにいくつか工夫をしています。山下さんの工夫にあてはまらないものを、次のアからウの中から一つ選んで、その記号を書きなさい。

ア 複数の調査方法を使い、多くの情報をもとにまとめて書いている。

イ 焼き物の歴史を、発展してきた順に並べて書いている。

ウ 焼き物の作り方について、その時代のくらしと結び付けて書いている。

二 山下さんは、報告文の題名を考えています。みんなに伝えたいことが分かるように、この報告文の題名にふさわしいものを、次のアからウの中から一つ選んで、その記号を書きなさい。

ア 伝統を受けつぎ、進化し続ける有田焼

イ ごうかな有田焼

ウ ヨーロッパで影響を与えた有田焼

三 山下さんが、調べていく中で分かったことから、報告文の中に自分の考えを述べているところがあります。その一文の最初の七字を書きなさい。